

社会参加推進センター会報

◆発行・編集 広島市障害者社会参加推進センター
〒732-0822 広島市南区松原町5-1 BIG FRONTひろしま5階
広島市身体障害者福祉団体連合会内
(TEL 082-263-4524・FAX 082-263-9713)
E-MAIL info@hiroshima-shishinren.or.jp
ホームページ http://shishinren.com/

広島市障害者陸上競技大会の開催

令和4年5月15日に第19回広島市障害者陸上競技大会が広島広域公園陸上競技場(エディオンスタジアム)で開催されました。

開会式では、安森博幸大会副委員長の開会宣言に続き、大会会長の松井一實広島市長が開会の挨拶をされ、温かい激励の言葉をいただきました。

続いて、長尾崇洋大会審判長から競技上の注意事項があり、選手を代表して植田真徳選手が力強く選手宣誓を行いました。天候にも恵まれ、身体障害の選手27名、知的障害の選手123名、精神障害の選手3名の総勢153名は、力いっぱいプレーを繰り広げました。

広島市障害者卓球大会の開催

令和4年5月28日(土)に第25回広島市障害者卓球大会が広島市中心身障害者福祉センター体育館で開催されました。この大会は当初、令和4年2月27日に(日)に開催予定でしたが、「新型コロナウイルス感染拡大集中対策」により延期になりました。

大会は、身体障害者11名、知的28名、精神9名が、年齢別等に分かれて競技を行い、真剣にプレーする姿が見られました。



卓球大会の開会式の様子

上記の2大会は、今年栃木県で開催される全国身体障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の出場選手の選考会を兼ねています。

第22回全国障害者スポーツ大会 広島市選手団が決定

第22回全国障害者スポーツ大会の2022いちご一会とちぎ大会は「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンに10月29日から31日までの3日間、栃木県内各地で開催されます。

広島市から出場される代表選手は、つぎの方々に決定しました。選手の皆さんは普段の力を出し切って頑張ってきてください。

(敬称略順不同)

- [団長] 向井助三 (公益社団法人広島市身体障害者福祉団体連合会会長)
- [陸上] 大杉勝則 塚本知也 宮尾宝 湯浅修治
大見宙 下田幸史 山延奈由 森本颯人
- [卓球] 髻谷真穂 濱口鉄舟 権藤空
白木陽都 中野博也 南谷艶子
- [フライングディスク] 三木英紀 吉田孝三 岡田誠二 横山拓斗
- [ボウリング] 小川真治 高橋朋希
- [ボッチャ] 阿部光汰 古谷友美
- [水泳] 藤川進也 桐井亮輔
- [精神障害者バレーボール] 白岩貴之 井筒康生
今岡真美 江副広通 前田拓哉 松浦幸子
松浦宏樹 湯来義尚

「心の輪を広げる体験作文」、 「障害者週間のポスター」募集

障害の有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合い、理解し合いながら生きることのできる「共生社会」を実現するため、障害や障害のある人に対する身近な体験や自分の思いを作文や絵にして応募してみませんか。

1 心の輪を広げる体験作文

(1) 募集テーマ(作文の題名は自由に設定可能。)

出会い、ふれあい、心の輪

～障害のある人とない人との心のふれあい体験を広げよう～

- (2) 応募資格
小学生以上（障害の有無にかかわらず、どなたでも応募できます。）
- (3) 応募方法
- ① 募集は、「小学生区分」、「中学生区分」、「高校生区分」、「一般区分」のいずれかとし、未発表の作品1編に限ります。
 - ② 作文の内容は、障害のある人となない人の心のふれあいの体験をつづったものとします。
 - ③ 原則として、400字詰原稿用紙（B4判又はA4判横向き・縦書き）を使用し、「小学生区分」、「中学生区分」は2～4枚程度、「高校生区分」、「一般区分」は4～6枚程度とします。
 - ④ パソコン等の電子機器による作成も可とします。
 - ⑤ 第三者が知的財産権を保有する著作物を使用しないでください。
 - ⑥ 題名（作品のタイトル）、住所、氏名（ふりがな）、年齢（生年月日）、職業又は学校名（学年）、電話・FAX番号、障害の有無・程度、その他参考となる事項を記入した用紙を応募作品に添付してください。

2 障害者週間のポスター

- (1) 募集テーマ（作品の題名は自由に設定可能です。）
障害の有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現
- (2) 応募資格
小学生及び中学生（障害の有無にかかわらず、どなたでも応募できます。）
- (3) 応募方法
- ① 応募は「小学生区分」、「中学生区分」のいずれかとし、未発表の作品1点に限ります。
 - ② ポスターの内容は、障害のある人に対する理解促進に資するものとし、障害のある人となない人の相互理解・交流等を表現したものとします。
 - ③ 規格は、画用紙のB3判（横364mm×縦515mm）又はいわゆる四つ切り（横382mm×縦542mm）を使用し、これに満たない作品は、B3判の台紙に貼付してください。なお、内閣府が「障害者週間」の広報用ポスターを作成する際のレイアウトの都合上、作品は縦位置（縦長）のみとします。彩色画材は、自由です。
 - ④ 第三者が知的財産権を保有する著作物を使用しないでください。
 - ⑤ 応募作品には、題名、住所、氏名（ふりがな）、年齢（生年月日）、学校名（学年）、電話・FAX番号、障害の有無・程度、その他参考となる事項を記入した用紙を添付してください。
- (4) その他

最優秀賞に選定した作品1点は、内閣府が作成する「障害者週間」の広報用ポスターの原画として使用する予定です。

- 3 応募期間
令和4年7月1日(金)～9月1日(木)【必着】
- 4 応募先(お問合せ先)
〒730-8586
広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
広島市健康福祉局 障害福祉部 障害福祉課
電話 082-504-2147 FAX 082-504-2256

新型コロナワクチン4回目接種に係る接種券の発行等について(お知らせ)

新型コロナワクチンの4回目接種の対象者については、下表のとおり、①60歳以上の方及び②18歳～59歳のうち基礎疾患を有する方等とされています。

接種券の発行に当たり、①に該当する方については、従来どおり申請は不要ですが、②に該当する方については、本市に申請を行っていただく必要があります。

広島市は、市民への周知を目的に、令和4年4月末までに3回目接種を受けたことが本市で確認できた18歳～59歳の方全員に対し、お知らせハガキを7月に発送いたします。

詳細については、お知らせハガキをご覧ください。

※ 基礎疾患を有する方は、広島市からのお知らせハガキの裏面をご覧ください。

対象者	接種券の発行
① 60歳以上の方	3回目接種の完了からおおむね5か月が経過する時期に発送
② 18歳～59歳で、 ・基礎疾患を有する方 ・その他新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認める方	接種券の発行申請が必要（WEB申請を基本とします。ただし、WEB申請が困難な方等については、郵送での申請も受け付けます。）

お問合せ先

- ・障害者施策に関すること 障害福祉課
電話 082-504-2147 FAX 082-504-2256
- ・ワクチンに関すること 健康推進課感染症担当
電話 082-504-2834 FAX 082-504-2471